

長栄座新春公演 源平芸能絵巻 「赤と白と」

～時代を彩った其々の人間模様～



第50回滋賀県芸術文化祭参加事業

●長栄座10th

一、平家琵琶「祇園精舎」(平家方・平清盛)

菊央雄司

二、箏曲「須磨の嵐」

(源氏方・熊谷直実 平家方・平敦盛)

歌と箏

萩岡松韻

箏

萩岡由子

三味線

野村祐子

幕間 民謡

成世昌平とその社中

三、邦楽・舞踊「花二題」

野村祐子作曲(平家方・平忠度)

箏

野村祐子

尺八

永廣孝山

幕間 民謡

成世昌平とその社中

四、狂言「那須の語り」(源氏方・那須与一)

語り

茂山千三郎

休憩

五、長唄舞踊「橋弁慶」

(源氏方・牛若丸、武蔵坊弁慶)

弁慶

若柳吉蔵

牛若丸

若柳佑輝子

長唄

三味線

杵屋勝九郎連中

幕間 民謡

成世昌平とその社中

六、能「船弁慶」

(平家方・平知盛 源氏方・静御前 源義経、武蔵坊弁慶)

前シテ

静御前

片山九郎右衛門

ほか

【監修】
【企画・構成・演出】
久保田敏子
前原和比古

令和3年1月17日(日) 14時開演(13時30分開場) 10月24日(土) 10時 前売開始



- 会場：滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール内特設舞台「長栄座」 滋賀県米原市下多良二丁目137 ☎0749-52-5111
- 入場料：一般3,000円 青少年(25歳未満)1,500円(当日各500円増) 【全席指定】※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。
「長栄座」公演2日間(1月16日、17日) 通し券：一般5,000円 青少年(25歳未満)2,000円
- プレイガイド：
 - 滋賀県立文化産業交流会館
 - びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ) ☎077-523-7136 (10:00～19:00 火曜日休館・休日の場合は翌日)
 - 長浜文化芸術会館
 - 木之本スティックホール
 - ローソンチケット(Lコード: 51617)
 - 楽天チケット



●主催：滋賀県立文化産業交流会館 ●助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

赤旗と白旗の下 凄絶な死闘を繰り広げた平氏と源氏 たとえ敵味方に別れても 失わぬ精神があった 紐解くキーワードは「慈・悲・喜・捨」 古典芸能で知る 日本人の真の優しさ

一、平家琵琶「祇園精舎」



菊央雄司
(平家琵琶演奏家)

二、箏曲「須磨の嵐」



萩岡松韻
(山田流箏曲・萩岡流家元)



萩岡松柯
(山田流箏曲・演奏家)



萩岡由子
(山田流箏曲・演奏家)

三、邦楽・舞踊「花二題」



野村祐子
(正統社二代家元)



林千永
(林流千永流家元)

四、狂言「那須の語り」



茂山千三郎
(大蔵流狂言師)

五、長唄舞踊「橋弁慶」



若柳吉蔵
(若柳流五世家元)



若柳佑輝子
(日本舞踊 若柳流)

六、能「船弁慶」



片山九郎右衛門
(観世流能楽師シテ方)

七、民謡「幕間」



成世昌平
(民謡歌手)

この世の春を謳歌していた平家一門は、清盛一人が頼りの脆弱な政権でした。

そのため、平家に不満を持つ源氏が各地で挙兵します。先ず1180年には源頼朝が伊豆で、源義仲が木曾谷で挙兵します。

1182年2月の清盛が死去に伴い平氏の中にも平家を裏切り源氏に着く者も現れました。そして源平相乱れる戦い「治承・寿永の乱」の幕が切って落とされました。

この歴史的事実を表した文学作品『源平盛衰記』『平家物語』には様々な説話が豊富に盛り込まれ、後世の文芸へ大きな影響を与え数々の作品が生まれました。

さて、令和2年度の「長栄座」新春公演は、「長栄座」開設して10年目の記念事業です。

そこで記念事業の企画として、多くの方々が親しみ周知している芸能は何かと模索した結果、前文で述べた理由によって『源平盛衰記』や『平家物語』に取材した芸能の中から、特に質が高く且つ娯楽性に富み源平の世を生きた人々の姿が見える作品を選びすぎる事に決定しました。

そして一流の演奏者や演技者を招聘することによって、観客の皆様が満足し納得して楽しむ舞台の提供を考えています。

今回の「長栄座」公演の中から滋賀にゆかりの深い「花二題」を紹介します。

■邦楽・舞踊「花二題」(平家方・平忠度)

『平家物語』より平忠度(たいらのただのり)の、花に寄せる下記の二首の歌を主題とした歌曲です。

源氏の猛攻に俄かに都落ちする平家の武将・藤原守忠度は、一旦都を離れたものの、歌道の教えを受けた藤原俊成卿のもとへ取って返しました。

「かねて詠みおいた歌の中より、もし一首でもまずまずの歌があれば、勅撰の和歌集に・・・」と百余首の歌を託すためでした。

その後、『千載和歌集』には、よみ人知らずとして「故郷の花」と題した一首が加えられました。

・さざ浪や 志賀の都はあれにしを
昔ながらの山桜かな (巻7)

忠度は、一の谷の合戦で討たれ、その籠(えびら)(矢をいれて背負う武具)には、「旅宿の花」と題した文が、結びつけられていました。

・行き暮れて 木の下蔭を宿とせば
花や今宵のあるじならまし (巻9)

花も実もある武士の最期に、敵も味方も鎧の袖を濡らしたと、『平家物語』は語り伝えます。

(企画・構成・演出 前原和比古)

この公演は、2021年に開催される東京オリンピック・パラリンピック大会の機運醸成と地域から魅力ある文化芸術を発信し、次世代に継承するため、公益財団法人びわ湖芸術文化財団の文化プログラム特別公演事業積立金を活用して開催いたします。

後援：滋賀県教育委員会、彦根市、長浜市、米原市、彦根市教育委員会、長浜市教育委員会、米原市教育委員会、公益財団法人平和堂財団株式会社しがぎん経済文化センター

企画・制作：滋賀県立文化産業交流会館

滋賀県立文化産業交流会館

〒521-0016 米原市下多良二丁目137

TEL 0749-52-5111 FAX 0749-52-5119

Email: bunsan@biwako-arts.or.jp https://www.s-bunsan.jp/

□ 休館日：毎週月曜日(※休日の場合はその翌日)、年末年始(12/29～1/3)

□ JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩約7分

□ 北陸自動車道米原インターより約10分 □ 名神高速道路彦根インターより約15分

□ 駐車場台数(約360台)



「ペコ丸の古典芸能よもやま話」を只今Webで配信中!!

